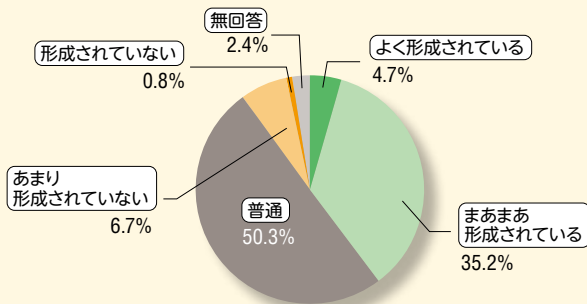


# 施策3-1 質の高い住環境の整備

## 施策をとりまく現状と課題

- 約9割の市民が、秩序ある街並みとやすらぎのある空間が形成されていると感じています。
- 現在、進行中の土地区画整理事業については、事業の円滑な進捗により、着実な市街化促進と人口の定着に努める必要があります。
- 道路や公園などの都市施設が不足する地区や、古い住宅が密集する地区では、地域住民の意向把握に努めながら居住環境の整備をする必要があります。
- 高齢者等の住み替え支援や空き家対策等の、新たな住宅施策の課題に対する取り組みを検討する必要があります。
- 新規整備と老朽化の進行によって、公園などの都市施設の維持管理の負担が年々増加しています。

秩序とやすらぎを感じる街が形成されていると思いますか



資料：平成24年度まちづくりアンケート

公園の状況と市民1人あたりの公園面積

種別	箇所数	面積
街区公園	53	13.94ha
近隣公園	3	4.70ha
地区公園	1	5.00ha
総合公園	1	9.50ha
緑地・墓地	12	23.01ha
児童遊園・ちびっ子広場	52	3.49ha
小幡緑地・森林公園	2	348.93ha
合計	124	408.57ha
市民1人あたりの公園面積		49.95㎡

資料：都市整備課

## 施策がめざす尾張旭市の姿

秩序ある街並みとやすらぎのある空間が形成されています。

街区や公園などの住環境が整備され、快適に生活できる環境が整っています。

## 施策成果指標 (施策の目的達成度を示す指標)

### 指標1 秩序とやすらぎを感じる街が形成されていると思う市民の割合

現状値 (平成25年1月)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
90.2%	91%	92%

※「普通」を除いた現状値：39.8%

秩序とやすらぎのある街が形成されているかを見る指標です。  
まちづくりアンケートで、秩序とやすらぎを感じる街が「よく形成されている」「まあまあ形成されている」「普通」と回答した市民の割合です。

成果指標の現状値は高水準にあるため、住宅都市としての本市の魅力の維持に努めます。

【施策を実現する手段】 基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	役割分担	基本事業成果指標 (基本事業の目的達成度を示す指標)	現状値	前期 目標値	後期 目標値	まちづくり の進め方
3-1-1 良好な市街地の 形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●計画的な市街地整備が進められています。</li> <li>●市街地整備の推進によって秩序ある街並みが形成されています。</li> </ul>	市民 事業者 行政	●都市計画マスタープラン* (市街地整備分)の進捗率	88.3%	90.3%	92.2%	市民協働 自己決定 分野横断 健康都市
			●秩序ある街区となっている市街地面積割合	57.8%	60.1%	61.8%	
3-1-2 公園等による うるおいのある 空間づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●うるおいとやすらぎを与える市街地空間が形成され、安全で快適に利用できるよう維持管理されています。</li> </ul>	市民 行政	●市街地の公園などの面積	84.3 ha	86 ha	88 ha	市民協働 自己決定 施設運営 健康都市
			●市内の公園が安全で快適に利用できると思う市民の割合	88.2%	89%	90%	
3-1-3 都市景観の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>●美しい街並みが形成されています。</li> </ul>	市民 事業者 行政	●都市景観に満足している市民の割合	82.4%	83%	85%	市民協働 自己決定 健康都市
3-1-4 市営住宅の 適切な管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市営住宅が適切に維持管理されています。</li> </ul>	行政	●市営住宅の維持管理上の事故件数	0件	0件	0件	自己決定



スカイワードあさひからの眺望



シンボルロード

部門別計画

- 尾張旭市都市計画マスタープラン（H23～H37）
- 尾張旭市都市景観基本計画

用語解説

※都市計画マスタープラン/都市計画法に基づき、市民の意思を反映しつつ、中長期を見据えた都市計画に関する基本的な方針のこと。

政策1

政策2

政策3

政策4

政策5

政策6

政策7

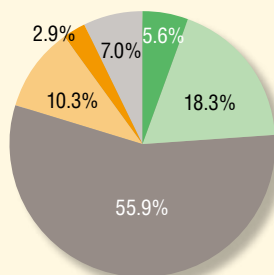
政策8

## 施策3- 2 快適に移動できる交通基盤の整備

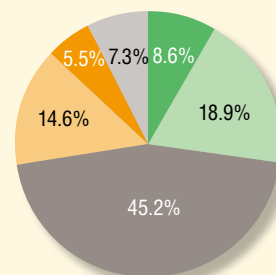
### 施策をとりまく現状と課題

- 高齢化の進行により、運転免許証返納者や移動困難者の増加が予測されるため、公共交通サービスの重要性が今後ますます高まるが見込まれます。
- 築造後、一定期間を経た幹線道路等の舗装や道路側溝の老朽化が進んでいることから、補修を行うなど適切な維持管理が求められています。
- 様々な活動に参加したり、買い物など生活に必要なことが自分一人で行えることなど、市民が普通の日常生活を送るためには、高齢者も障がい者も、誰でも自由に外出できる環境整備が必要です。
- 道路運送法の改正による路線バス撤退の容易化やモータリゼーション\*の進展等によって、公共交通の本数は減少の一途をたどっています。
- 旭前駅や印場駅のバリアフリー化など、誰もが移動しやすい公共空間の整備が求められています。

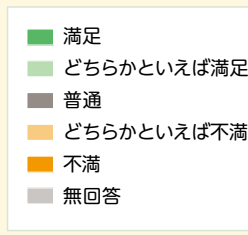
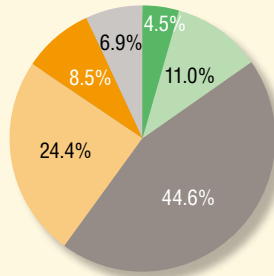
市内主要道路の満足度



鉄道などの公共交通手段の満足度



バスなどの公共交通手段の満足度



資料：平成24年度まちづくりアンケート

### 施策がめざす尾張旭市の姿

市内・市外への移動を円滑に行うことができます。

### 施策成果指標 (施策の目的達成度を示す指標)

#### 指標 1 市外への移動が円滑に行えると 思う市民の割合

現状値 (平成25年1月)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
89.1%	90%	92%

市外への移動が円滑にできているかを見る指標です。まちづくりアンケートで、円滑に市外へ移動することが「できる」「どちらかといえばできる」と回答した市民の割合です。

#### 指標 2 市内の移動が円滑に行えると 思う市民の割合

現状値 (平成25年1月)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
85.7%	87%	90%

市内の移動が円滑にできているかを見る指標です。まちづくりアンケートで、円滑に市内を移動することが「できる」「どちらかといえばできる」と回答した市民の割合です。

住みやすく出かけやすいまちづくりにより、まちの魅力を高めるため、積極的に施策を展開し、成果の向上をめざします。

政策1  
政策2  
政策3  
政策4  
政策5  
政策6  
政策7  
政策8

【施策を実現する手段】 基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	役割分担	基本事業成果指標 (基本事業の目的達成度を示す指標)	現状値	前期 目標値	後期 目標値	まちづくり の進め方
3-2-1 公共交通による 移動手段の確保	●公共交通網が整備され、 移動手段が確保されてい ます。	事業者 行政	●市内の移動に困っている 市民の割合	% 11.4	% 11	% 10	自己決定 健康都市
3-2-2 駅・駅周辺施設の 整備	●駅、駅前広場、バス停、タ クシー乗り場などが整備 され、乗り継ぎが円滑に できています。 ●駅・駅周辺施設が整備さ れています。	事業者 行政	●駅前広場の整備率	% 75	% 75	% 100	自己決定 施設運営 分野横断 健康都市
			●駅・駅周辺施設の利用者 満足度	% 75.4	% 78	% 83	
3-2-3 交通バリアフリー の推進	●駅や道路が、人にやさし い構造になっています。	事業者 行政	●駅のバリアフリー化率	% 50	% 75	% 100	自己決定 分野横断 健康都市
			●歩道のバリアフリー化実 施箇所数	箇所 275	箇所 317	箇所 352	
			●道路段差に不便を感じる 市民の割合	% 28.6	% 27	% 25	
3-2-4 幹線道路整備の 推進	●幹線道路が整備され、 円滑に移動可能な道路が 増えています。	行政	●自動車での幹線道路利用 による満足度	% 79.8	% 80	% 85	自己決定 分野横断 健康都市
3-2-5 生活道路の 整備と維持管理	●生活道路が、誰もが安全 に利用できるように維持 管理されています。	事業者 行政	●市民により生活道路等が 維持管理されている箇所数	箇所 14	箇所 16	箇所 19	自己決定 施設運営 分野横断 健康都市
			●道路管理の瑕疵により損 害賠償の対象となった件数	件 0	件 0	件 0	

部門別計画

- 尾張旭市交通基本計画（H25～H37）
- 尾張旭市橋梁長寿命化修繕計画（H23～）

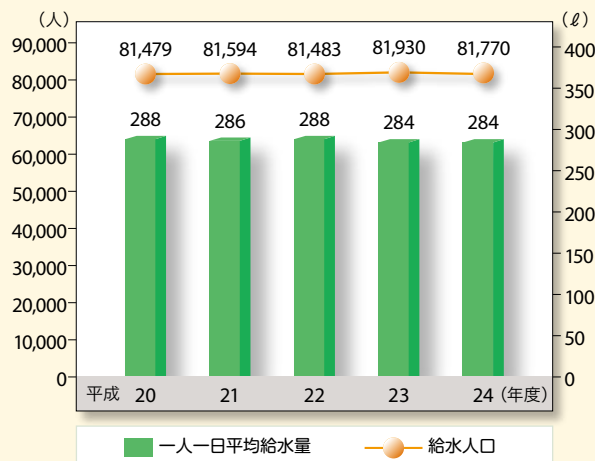
用語解説 ※モータリゼーション/自動車が生活必需品として普及する現象のこと。

## 施策3- 3 安全で安定した水の供給

### 施策をとりまく現状と課題

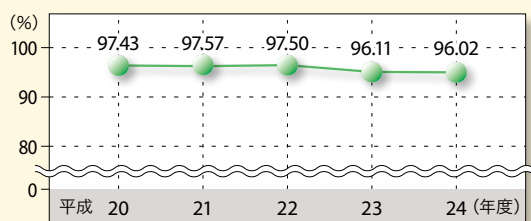
- 本市の水道は、愛知県営水道から全量を受水し、安全で安定した水の供給を行っており、引き続き高い水準が求められています。
- 昭和40～50年代に埋設された配水管が多いことから、今後は、配水管の老朽化への対応や耐震化を進める必要があります。
- 今後も、市民に安全で安定した水道水を供給するために、さらなる経営の改善・合理化など、様々な取り組みを進めていくことが必要です。
- 市民一人ひとりが水資源の大切さを理解することが求められています。

給水人口・一人一日平均給水量の推移



資料：尾張旭市の統計

有収率\*の推移



資料：尾張旭市水道事業会計決算書及び決算附属資料

### 施策がめざす尾張旭市の姿

安全で安定した水道水を使うことができます。

### 施策成果指標 (施策の目的達成度を示す指標)

#### 指標 1 安全な水道水が供給されている割合

現状値 (平成24年度)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
100%	100%	100%

水質についての日常及び定期検査において基準値を超える異常値がなく、安全な水道水が供給された年間日数の割合です。

#### 指標 2 水道水供給事故回数

現状値 (平成24年度)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
0回	0回	0回

配水管の大規模な漏水事故や異常湧水などにより、広範囲(100世帯以上)において水道水の供給に支障が出た回数です。

成果指標の現状値は高いので、引き続き安全で安定した水道水の供給に努めます。



- 政策1
- 政策2
- 政策3
- 政策4
- 政策5
- 政策6
- 政策7
- 政策8

## 【施策を実現する手段】 基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	役割分担	基本事業成果指標 (基本事業の目的達成度を示す指標)	現状値	前期目標値	後期目標値	まちづくりの進め方
3-3-1 安定供給の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>●安全で安定した水道水が常に供給されています。</li> <li>●震災時でも安定して水道水が供給されています。</li> </ul>	行政	●有収率	% 96	% 96	% 96	<div style="border: 1px solid green; padding: 2px;">自己決定</div> <div style="border: 1px solid purple; padding: 2px;">施設運営</div> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px;">健康都市</div>
			●配水管の老朽化率	% 11.7	% 22.6	% 33.5	
			●幹線管路の耐震化率	% 20.9	% 28.1	% 37.5	
			●応急給水拠点箇所数	拠点 8	拠点 12	拠点 15	
3-3-2 健全な上水道経営の推進	●上水道事業の経営が健全に行われています。	行政	●総収支比率*	% 103.55	% 100以上	% 100以上	<div style="border: 1px solid green; padding: 2px;">自己決定</div> <div style="border: 1px solid purple; padding: 2px;">施設運営</div>
			●資金不足比率*	—	—	—	
3-3-3 水の有効利用の促進	●水資源の大切さが理解され、有効に水が使われています。	<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">市民</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">事業者</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">行政</div>	●一人一日平均給水量	ℓ 284	ℓ 284	ℓ 284	<div style="border: 1px solid orange; padding: 2px;">市民協働</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 2px;">自己決定</div> <div style="border: 1px solid red; padding: 2px;">健康都市</div>



柏井配水場



給水車による応急給水

## 部門別計画

### 尾張旭市水道ビジョン (H20~H29)

#### 用語解説

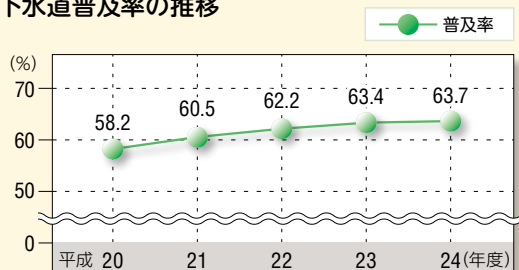
- ※有収率/給水量に対する、水道料金徴収の基礎となる使用量の割合のこと。有収率が高いほど、水道経営が効率的で望ましい状態とされる。
- ※総収支比率/公営企業の収益性を見る際の代表的な指標であり、費用が収益によってどの程度賄われているかを示すもの。
- ※資金不足比率/公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すもの。

# 施策3-4 衛生的で快適な下水道の整備

## 施策をとりまく現状と課題

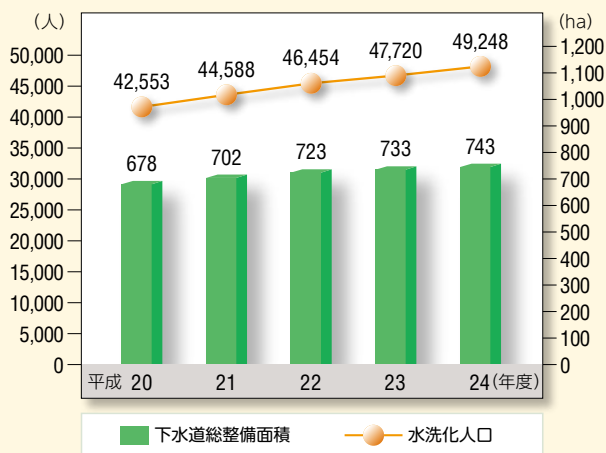
- 本市の下水道普及率は、平成24年度末で63.7%に達しました。未整備地区における市民要望は強いものの、一般会計からの財政負担が多いため、今後も市の財政面を考慮し、計画的な整備を進めていく必要があります。
- 水洗化率は約95%となっており、水洗化の普及促進をさらに進めていく必要があります。
- 下水道の普及に伴い、浄化センターや管渠きょなどは、施設機能を十分に発揮できるよう、適切な維持管理に努めるとともに、浄化センターの処理能力を拡大する必要があります。
- 経営の健全性を明らかにして、事業運営にあたるため、企業会計への移行について検討する必要があります。

下水道普及率の推移



資料：下水道課

下水道総整備面積・水洗化人口の推移



資料：下水道課

## 施策がめざす尾張旭市の姿

下水道が整備され、衛生的で快適なまちになっています。

## 施策成果指標 (施策の目的達成度を示す指標)

### 指標 1 下水道普及率

現状値 (平成24年度)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
63.7%	74%	83%

公共下水道供用開始区域内における人口を、尾張旭市の人口で割って算出した数値です。

### 指標 2 水洗化率

現状値 (平成24年度)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
94.5%	94%	94%

公共下水道供用開始区域内において公共下水道を利用している人口の割合です。

衛生的で快適な住みよいまちづくりのため、積極的に施策を展開し、成果の向上をめざします。

【施策を実現する手段】 基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	役割分担	基本事業成果指標 (基本事業の目的達成度を示す指標)	現状値	前期 目標値	後期 目標値	まちづくり の進め方
3-4-1 污水管の 整備促進	●污水管 <sup>*</sup> の整備により、公共下水道に接続できる地区が増えています。	行政	●下水道総整備面積	ha 742.6	ha 891	ha 1,015	自己決定 健康都市
3-4-2 処理施設の整備と 維持管理	●下水処理施設の処理能力が確保され、適切な維持管理により、良好な汚水処理がされています。	行政	●処理後の水質が計画放流水質基準を超えた日数 ●処理施設の維持管理不具合件数	日 0 件 0	日 0 件 0	日 0 件 0	自己決定 施設運営 健康都市
3-4-3 管渠 <sup>きよ</sup> 施設の 維持管理	●管渠 <sup>きよ</sup> 施設が適切に維持管理されています。	行政	●管渠 <sup>きよ</sup> ・マンホールの保守点検箇所数 ●管渠 <sup>きよ</sup> 補修延長	箇所 1,009 m 700.2	箇所 1,000 m 430	箇所 1,000 m 430	自己決定 施設運営 健康都市
3-4-4 水洗化の 普及促進	●水洗化の普及促進の取り組みにより、水洗化する世帯が増えています。	市民 事業者 行政	●水洗化人口	人 49,248	人 58,600	人 66,800	市民協働 自己決定 健康都市



東部浄化センター



西部浄化センター

用語解説

- 管渠<sup>きよ</sup>／家庭・工場からの下水を流す円形断面の水路のこと。
- 污水管／日常生活又は生産活動などの事業に起因して生じる排水を流す管のこと。

- 政策1
- 政策2
- 政策3
- 政策4
- 政策5
- 政策6
- 政策7
- 政策8

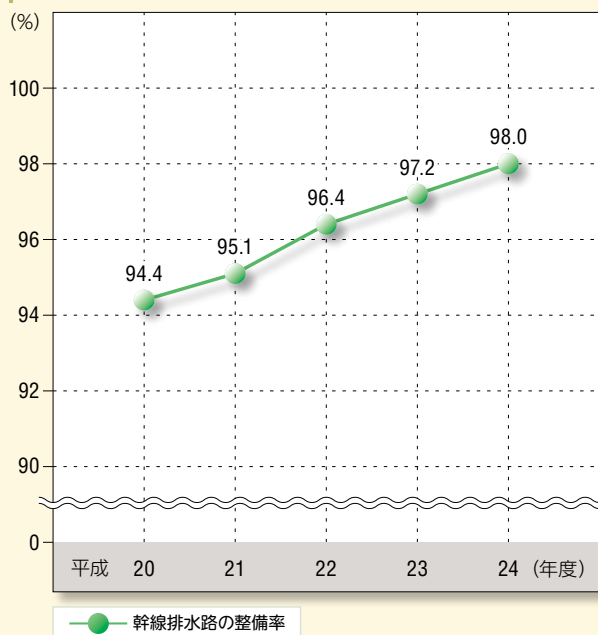


## 施策3-5 雨水対策・河川整備の推進

### 施策をとりまく現状と課題

- 平成12年の東海豪雨以降、平成20年8月末の豪雨、平成23年の台風15号による豪雨といったように、気象環境が変化し、集中豪雨の発生する頻度は高くなる傾向にあり、雨に強いまちづくりを進めていくことが求められています。
- 大雨時に浸水被害の危険性がある地区については、早期に対応することが必要です。
- 本市の水系は、市の中央部を流れる矢田川をはじめ、各種の河川、雨水幹線、排水路などで成り立っており、順次整備を進めてきましたが、今後も県等と連携し、地域の実情に応じた整備が必要になります。

幹線排水路の整備率



資料：土木管理課

### 施策がめざす尾張旭市の姿

排水施設や河川が整備され、雨に強いまちになっています。

### 施策成果指標 (施策の目的達成度を示す指標)

#### 指標 1 床上浸水家屋数

現状値 (平成24年度)	前期目標値 (平成30年度)	後期目標値 (平成35年度)
0件	0件	0件

水害等により床上浸水をした家屋数です。

地形や異常気象などに影響されやすい施策ですが、雨水対策が必要な地域において排水施設の整備を積極的に進めます。

## 【施策を実現する手段】 基本事業の構成

基本事業	基本事業のめざす姿	役割分担	基本事業成果指標 (基本事業の目的達成度を示す指標)	現状値	前期 目標値	後期 目標値	まちづくり の進め方
3-5-1 排水施設の整備・ 維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>●排水施設が整備され、浸水しにくくなっています。</li> <li>●既存の排水施設が適切に維持管理されています。</li> </ul>	行政	●幹線排水路*の整備率	% 98.0	% 100	% 100	自己決定 施設運営 分野横断 健康都市
			●道路冠水箇所数	箇所 19	箇所 13	箇所 8	
			●側溝改修延長	m 671	m 700	m 800	
3-5-2 河川の整備	●河川が計画的に整備されています。	行政	●河川整備率	% 79.7	% 84.1	% 90.8	自己決定 健康都市



天神川



矢田川